

## 令和3年7月 研修医通信 vol110 吉澤英聖

紀南病院における、1ヶ月間の地域医療研修が終了しました。研修開始前日の夜に寮に到着し、不安な気持ちもありましたが、あっという間でした。

私の父が尾鷲市出身で、三重県南部の医療をこの目でみたいと思ったことと、実際に生活することでより深く地域を知りたいと思ったため紀南病院を希望しました。

主に病棟、救急外来、診療所で研修をさせていただきました。転院搬送でドクターヘリを要請したり、伊勢まで救急車に同乗したり、へき地診療所への往復で車酔いによりグロッキーになるなど様々な経験をさせていただきました。へき地診療所へ行く機会も多く、担っている医療圏の広さを実感しました。

紀南病院は最先端の設備や診療科が全てあるわけではありませんが、医師、看護師含む医療従事者や事務の方などスタッフの人間性、また地域の人々に支えられて成り立っているものだと感じました。地域の方々と病院内外でお話しし、温かさ、優しさを感じる場面も多くありました。90代でもシャキシャキと診察室に入ってこられる高齢者の方もおり、私も人としてこうありたいと尊敬の念を抱きました。

休日も今年冬から趣味のサ道（サウナ）や観光を楽しみ、近くのキャンプ場の滝サウナに何度も通い、おいしいものを食べ、温泉に行ったりと充実した研修生活でした。

最後になりましたが、何かと気にかけてくださった先生方、他スタッフの方々に深く感謝申し上げます。この経験を忘れず、医師として人々の力になれるよう精進します。ありがとうございました。



## 鈴鹿中央総合病院 2年目研修医 中村 洋輔

1か月と短い間でしたが、紀南病院の研修で様々な経験を積むことができました。病棟管理をはじめ、救急、診療所、在宅など幅広く研修させていただきました。研修医1年目では救急を中心にしており、病棟業務がおろそかになっており、今回尿路感染をはじめとして感染症や消化器疾患、神経疾患など様々な疾患の病棟管理を学ぶことができました。毎朝カンファレンスを行い、症例を検討し、共有することで、専門科がなくても、チームとして対応している印象を受けました。退院後の生活に関しては医師だけでなく、看護師を含めた多職種の方々との連携の重要性を再認識するよい機会となりました。また診療所や在宅では漢方や非薬物療法の重要性を学ぶことができました。鈴鹿では学ぶことができない、充実した研修となりました。このような機会をいただき、大変感謝しております。これからの医療人生に生かせるよう精進していきます。最後になりますが、ご指導いただきました福井先生をはじめ、お世話になった皆様、ありがとうございました。

